

平成28年度 紙製容器包装分別基準適合物の再生処理事業者登録申込書(様式1)

作成日 平成27年 7月 1日

再生処理事業者名	(カナ) カブシキカイシャマルマルコウギョウ				
	(漢字) 株式会社〇〇工業				
代表者氏名	(カナ) ヨウキタロウ	役職名	(カナ) ダイヒョウトリシマリヤク		
	(漢字) 容器太郎		(漢字) 代表取締役		
本社所在地	(カナ) 〒123-4567 マルマルクサンカクサンカク				
	(漢字) 東京都 〇〇区△△1-2-3				
電話番号	03-5678-8901	FAX番号	03-5678-8901		
担当部署名	(カナ) リサイクルスイシンカ				
	(漢字) リサイクル推進課				
担当者氏名	(カナ) ホウソウジロウ	役職名	(カナ) カチョウ		
	(漢字) 包装 次郎		(漢字) 課長		
担当者所在地 (資料送付先)	(カナ) 〒156-7890 シカクシカクシバツバツ				
	(漢字) 東京都 □□市××1-2-3				
電話番号	0234-567-8901	FAX番号	0234-567-8901		
E-Mail	abc@def.co.jp	連絡用E-Mail	abc@def.co.jp		
設立	昭和〇〇年 △月	設立後	××年	従業員	30人
資本金	1,000千円			年間売上高	1,000,000千円
会社の 主たる業務	産業廃棄物収集運搬	工場(事業所)数	1ヶ所	ホームページ	http://www.jcpra.or.jp/

「事業者登録規程」に適合していること、ならびに、この申込書及び添付資料の内容については、事実と相違ありません。

平成 年 月 日

事業者 代表者 印 (代表者登録印(個人の場合は実印))

平成28年度 紙製容器包装分別基準適合物の再生処理事業者(固形燃料化)登録申請書(様式1-②)

印字サンプル

事業者名	代表者名	作成日
株式会社〇〇工業	容器太郎	平成27年 7月 1日

1. 固形燃料化事業に係る収支見通し

(金額は千円単位)

		平成26年度 実績	平成27年度 見込み	平成28年度 計画	平成29年度 想定	平成30年度 想定
収入 (固形燃料製造販売)	再生処理委託料(イ)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,100,000
	内)協会からの受託料	3,000	3,500	3,700	3,700	3,700
	販売収入(ロ)	200,000	210,000	230,000	250,000	270,000
	販売量(t)	50,000	50,000	52,000	54,000	56,000
	その他固形燃料化事業に関する収入(ハ)	300,000	350,000	370,000	390,000	420,000
	計 (イ)+(ロ)+(ハ) ⇒ ①	2,500,000	2,560,000	2,600,000	2,640,000	2,790,000
支出 (固形燃料製造販売)	人件費	650,000	610,000	630,000	650,000	660,000
	減価償却費	100,000	100,000	80,000	80,000	80,000
	土地・建物・設備等の賃借料	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	その他経費(メンテナンス費・運賃・ 電熱用水費・その他)	1,000,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
	計 ⇒ ②	1,780,000	1,840,000	1,840,000	1,860,000	1,870,000
	差引収支差額(①-②)	720,000	720,000	760,000	780,000	920,000

2. 協会扱い分のみの収支

(金額は千円単位)

		平成26年度 実績	平成27年度 見込み	平成28年度 計画	平成29年度 想定	平成30年度 想定
収入 (固形燃料製造販売)	協会からの受託料(ニ)	3,000	3,500	3,700	3,700	3,700
	再商品化製品販売収入(ホ)	1,200	1,200	1,500	1,500	1,500
	トン当たりの販売単価 (※千円単位)	3	3	3	3	3
	販売量(t)	400	400	500	500	500
	計 (ニ)+(ホ) ⇒ ③	4,200	4,700	5,200	5,200	5,200
支出 (固形燃料製造販売)	人件費	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600
	減価償却費	200	200	200	200	200
	土地・建物・設備等の賃借料	70	70	70	70	70
	その他経費(メンテナンス費・運賃・ 電熱用水費・その他)	2,200	2,100	2,100	2,200	2,200
	計 ⇒ ④	3,970	3,870	3,970	4,070	4,070
	差引収支差額(③-④)	230	830	1,230	1,130	1,130

3. 事業全体

(固形燃料化事業以外も含めた全事業)

(金額は千円単位)

	平成26年度 実績	平成27年度 見込み	平成28年度 計画	平成29年度 想定	平成30年度 想定
売上高	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,200,000	3,300,000
経常利益	300,000	275,000	286,000	290,000	292,000

平成28年度 紙製容器包装分別基準適合物の再生処理事業者(固形燃料化)登録申込書(様式2)

再生処理事業者： 1234567 株式会社〇〇工業

工場： 01 第一工場

作成日 平成27年 7月 1日

再生処理施設の 所在地及び担当部署	工場名又は 事業所名	(カナ) ダイイチコウジョウ (漢字) 第一工場					
	所在地	(カナ) 〒457-1234 シカクシカクシバツバツ					
		(漢字) 愛知県 □□市××1-2-3					
	担当部署名	RPF事業部	役職名	課長	電話番号	0234-567-8901	
	担当者名	分別 良夫				FAX番号	0234-567-8901
	e-mail	abc@def.co.jp				工場(事業所) の総面積	300 m ²

1. 当工場における再生処理施設の人員構成

人員構成	事務及びその他部門	現業部門(パートを含む)	工場人員計	交替制勤務の場合は交替数
	15人	25人	40人	2交替

2. 当工場における
固形燃料製品の年間販売量(前年度実績)

100トン

3. 当該リサイクル製品に使用する紙類の有無
前年度の年間使用量(貴社の決算ベース)

紙類の使用の有無	年間使用量(うち紙製容器包装の使用量)
あり	20トン(0トン)

4. 紙製容器包装を原料とした
固形燃料製造での配合予定比率

紙製容器包装	他材料(産廃プラなど)
80%	20%

5. 当工場における固形燃料化施設の状況・再生処理能力と原料としての紙製容器包装引受処理能力・引取同意書合計量 ※ 引受処理能力 = 1年の処理能力×紙製容器包装の配合比率

固形燃料化施設の状況	製造品種	再生処理能力			原料としての紙製容器包装 引受処理能力 ※	再商品化製品利用事業者の 引き取り同意量合計
		1時間の処理能力	1日の処理能力	1年の処理能力		
■ 既設 □ 新設中(完成予定) □ 改造中(完成予定)	■ 固形燃料 □ フラフ	121 kg/時間	1.4トン/日	183トン/年	146トン/年	200トン/年
			1日の稼働時間： (12時間)	1年の稼働日数： (131日)		

平成28年度 紙製容器包装分別基準適合物の再生処理事業者（固形燃料化）登録申込書（様式2-②）

事業者名	代表者名	作成日
株式会社〇〇工業	容器太郎	平成27年 7月 1日

紙製容器包装再生処理事業に係る事業責任者および現場責任者などの業務経歴

(申請する再生処理事業に係る責任者の氏名および主な業務経歴を記載してください。業務経歴は印字サンプルを参考に具体的に記載ください)

施設名	事業責任者氏名	現場責任者氏名
第一工場	事業太郎	現場太郎

1. 事業責任者の業務経歴

主な業務経歴
平成〇年株式会社〇〇工業入社 平成〇年〇〇工場へ異動第一製造課に勤務 平成〇年〇〇工場第一製造課課長を拝命 平成〇年第一工場へ異動、製造部長を拝命 平成〇年第一工場長を拝命、現在に至る

2. 現場責任者の業務経歴

主な業務経歴
平成〇年株式会社〇〇工業入社 平成〇年〇〇工場へ異動第二製造課に勤務 平成〇年〇〇工場第二製造課主任を拝命 平成〇年第一工場へ異動、製造課長を拝命 平成〇年第一工場製造部長を拝命、現在に至る

3. 再生処理事業の実施に係る資格所有者

資格	氏名
廃棄物処理施設技術管理者	事業太郎
フォークリフト、クランプリフト	包装太郎
パワーショベル等	現場太郎、包装太郎

平成28年度 紙製容器包装分別基準適合物の再生処理事業者（固形燃料化）登録申込書（様式3）

再生処理事業者： 1234567 株式会社〇〇工業
工場： 01 第一工場

作成日 平成27年 7月 1日

1. 紙製容器包装の保管場所

選別事業者等から引き取った 固形燃料化原料向け選別品の 保管場所の面積、保管可能量	保管場所の面積(屋内)	保管可能量
	1,000 m ²	100トン

2. 主要設備の仕様(固形燃料化製品の製造に必要な主要設備を工程順に表示)

	設備名	設備の有無	台数	製造メーカー・型式	能力(処理量)	動力
1	計量設備（トラックスケール）	あり	2台	製造メーカーA	10トン	—
2	選別機	なし	台		kg/時	kw
3	砕砕機（粗破砕用）	なし	台		kg/時	kw
4	砕砕機（細破砕用）	なし	台		kg/時	kw
5	乾燥機	なし	台		kg/時	kw
6	定量供給機	なし	台		kg/時	kw
7	成形機	なし	台		kg/時	kw
8	成型品冷却器	なし	台		kg/時	kw
9			0台		0 kg/時	0 kw
10			0台		0 kg/時	0 kw

3. 紙製容器包装固形燃料化製品の保管場所

保管場所の面積、保管可能量	保管場所の面積(屋内)	保管可能量
	1,000 m ²	100トン

平成28年度 紙製容器包装再商品化製品引き取り同意書 (固形燃料化事業者用) (様式4)

株式会社〇〇工業 殿
(再生処理事業者名)

平成 年 月 日

社 名 株式会社利用工業
 工 場 名 本社工場
 〒123-4567
 工 場 所 在 地 東京都〇〇市××1-2-3
 工場責任者役職名 工場長
 工 場 責 任 者 利用太郎 印
 (再商品化製品利用事業者)
 担 当 部 署 リサイクル部
 担 当 者 包装太郎
 電 話 番 号 03-9876-5430
 F A X 番 号 03-9876-5429

が製造する固形燃料について、当社が提示する品質規格を満足して

当社は再生処理事業者 株式会社〇〇工業 いることを確認の上、当該固形燃料を引き取り、適正に利用することに同意します。

平成28年度 紙製容器包装の固形燃料 引き取り同意量 : 4,555 トン / 年	
ボイラー 利用施設 の 効 率	ボイラー効率 [JIS B8222適用] 54.9 %
エ ネ ル ギ ー 利 用 率	①燃料低位発熱量 : 334,442 Gcal / 年
	②その他入熱量(空気顕熱等) : 9,800 Gcal / 年
	③熱利用量 : 322 Gcal / 年
	④電力発生量(一次エネルギー換算値) : 64,500 Gcal / 年
エネルギー 利用 率	エネルギー利用率 = $\frac{\text{③熱利用量} + \text{④電力発生量}}{\text{①燃料低位発熱量} + \text{②その他入熱量}} \times 100\%$: 18.8 %
再商品化製品利用事業者と再生処理事業者が同一事業者、 又は同一のグループ企業で (<input type="checkbox"/> ある / <input checked="" type="checkbox"/> ない)	

上記の各数値の定義については「紙製容器包装サーマルリサイクル施設技術指針」を参照してください。

※ 本同意書は再商品化製品利用事業者の工場(事業所)毎に作成してください。
また、コピーではなく原本を送付ください。

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会より利用事業者の方へお願い

- 1: 本同意書には、引き取り品質規格書を添付してください。なお、引き取り品質規格書にも再商品化製品利用事業者の社名・工場(事業所)名の明記、押印が必要です。
- 2: 引き取り同意量は、貴社(再商品化製品利用事業者)が本書持参の再生処理事業者から平成28年度中に引き取り可能な紙製容器包装再商品化製品の量をご記入ください。この数値は、当協会が再生処理事業者の再商品化受託可能量を査定する際の重要な資料となります。なお、引き取り同意量の記入がなければ、登録はできませんので十分ご注意ください。
- 3: 下記書類につきましては、当協会より利用事業者の方へ直接確認させていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
 - ◆利用施設の燃料使用実績
 - ・燃料別使用実績(官庁報告書類のコピー等)
 - ・平成28年度新規稼働施設にあつては計画届出書
 - ◆ボイラー効率算出計算書
 - ・使用数値等については、同数値の記載された各種官庁提出書類等
 - ◆エネルギー利用率算出計算書
 - ・使用数値等については、同数値の記載された各種官庁提出書類等
 - ◆利用施設を保有することを示す書類(写し)
 - ・電気事業法、労働安全衛生法、大気汚染防止法関連の許可書等
 - ・平成28年度新規稼働施設にあつては計画届出書類
 - ◆紙製容器包装固形燃料使用ボイラーの使用条件に関する書類
 - ・蒸発量、蒸気圧力、蒸気温度、ボイラー型式等
- 4: 再商品化製品につきまして利用状況など調査を行うことがございますがご協力をお願いいたします。

ご不明な点等につきましては、下記までお問い合わせください。
 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 紙容器事業部
 電話: 03-5532-8627、8609